

コ ー ス	歯科臨床画像診断学 (Imaging Diagnosis)		
学年・期・単位	第4学年・前期・1単位	科目担当責任者	櫻井 孝 (顎顔面診断科学講座 放射線学分野・准教授)
オフィスアワー	月曜日～金曜日9:00～18:00 (第2研究棟1階講義担当者研究室)	ホームページ	sakurait@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	顎顔面領域に生じる疾患に対する画像診断の重要性を理解し、画像診断に必要な知識を習得するとともに、放射線生物学と放射線防護および放射線治療に関する基礎的概念を学習する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 画像検査学総論	各種画像検査法における理論と特性を理解する。
2. 画像診断学総論	画像診断の進め方を理解し、所見の表現と解釈の方法について習得する。
3. 画像診断学各論	炎症性疾患、腫瘍および腫瘍類似疾患、嚢胞、外傷、系統疾患などの診断における特徴的画像所見に関する知識を習得する。
4. 放射線生物学	放射線の生物学的作用に関する基本的知識を理解し、放射線防護の概念や法的規制について習得する。
5. 放射線治療学	頭頸部領域における放射線治療についての生物学的基礎と、放射線治療の種類や適応に関する知識を習得する。
6. 医学と歯科放射線学	医学領域における歯科放射線学の重要性について理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 新歯科放射線学 - New Oral Radiology -	編集：鹿島 勇	医学情報社
B 歯科放射線の臨床診断：画像診断病理概説 改訂版	編集：山本浩嗣、小林 馨 執筆：奥村泰彦、鹿島 勇 ほか	末永書店

参考書		
書名	著者名等	発行所
アトラス口腔画像診断の臨床	東 与光、生田裕之	医歯薬出版
エッセンス歯科放射線学	編集：塩島 勝 執筆：奥村泰彦、櫻井 孝 ほか	学建書院

評価法 (EV)
本試験 (50%)、問題演習 (40%)、出席状況と授業態度 (10%) により総合的に評価する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	画像検査学総論	画像検査の概念、CT、歯科用 CT および MRI の撮像原理、適応および正常解剖像について説明できる。	A P165～185をもとに、説明し、解説をする。パワーポイントにて説明し、解説をする。	川股亮太	F-1-2)-⑨ 総(IX)-2-L,M,N
2	4/12		画像検査の概念、超音波検査および RI 検査の原理、適応および正常解剖像について説明できる。	A P187～202をもとに、説明し、解説をする。パワーポイントにて説明し、解説をする。	川股亮太	F-1-2)-⑨ 総(IX)-2-O,P
3	4/19	総論 画像診断学	画像所見の表現や所見の解釈について説明できる。	A P205～253。板書、パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-1-2)-⑦ 必11-E
4	4/26	画像診断学各論	顎・口腔領域に発生する嚢胞の種類と、その画像所見について説明できる。	A P255～330。B P27～48。パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(3) 各IV - I -4 各IV - II -4
5	5/10		顎・口腔領域に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患の種類と、その画像所見について説明できる。	A P255～330。B P49～74、79～96。パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(3) 各IV - I -5 各IV - II -5
6	5/17		顎・口腔領域に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患、線維骨性病変の種類と、その画像所見について説明できる。	A P255～330。B P79～118、121～126。パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(3) 各IV - II -5
7	5/24		顎・口腔領域に発生する悪性腫瘍の種類と、その画像所見について説明できる。	A P255～330。B P76～78、98～118。パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(3) 各IV - I -5 各IV - II -5
8	5/31		炎症、外傷、上顎洞疾患、その他の軟組織疾患について、種類や性状、その画像所見について説明できる。	A P255～330。B P5～26、127～184。パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(1)(2) 各IV - I -3 各IV - II -2,3
9	6/7		唾液腺疾患、顎関節疾患、系統疾患について、種類や性状、その画像所見について説明できる。	A P255～330。B P135～154、157～184。パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(4)(5)(7) 各IV - III -1,3 各IV - IV -1
10	6/14	学 画像検査学、画像診断学 まとめ(中間テスト)	画像診断のプロセスを総合的に理解し、顎・口腔領域に生じ画像所見を呈する疾患に対する基礎的画像診断ができる。	配布の演習問題に取り組むことにより講義内容の復習を行う。	櫻井 孝	上記の全て 上記の全て
11	6/21	放射線生物学	放射線の生物学的作用に関する生物学的基礎と物理学的基礎について説明できる。	A P333～347。板書、パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-1-2)-② 必14-A-m 総VI-9-B,C,D
12	6/28		放射線の生物学的作用の修飾因子や、正常組織、腫瘍組織の放射線感受性について説明できる。	A P333～354。板書、パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-1-2)-② 必14-A-m 総VI-9-B,C,D
13	7/5		1.放射線を取り扱うために必要な管理・防護の方法および法規について理解し、説明できる。 2.放射線によって生じる障害の種類・症状について理解し説明できる。	A P357～391。板書、パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-1-2)-②③ 総VI-9-B,C,D 総IX-2-G
14	7/12	学 放射線治療	1.放射線治療について治療方法の分類(外部照射、組織内照射)手法、適応について理解し、説明できる。 2.放射線治療に伴う副作用の種類と対処方法について理解し、説明できる。	A P349～354、395～424。板書、パワーポイントにて説明し、解説をする。	櫻井 孝	F-2-4)-(3)-⑩ 総X-8 各IV - I -5-P
15	7/19	放射線学 医学と歯科	骨粗鬆症の診断に対する歯科放射線学の有用性を理解し、医学領域における歯科放射線学の重要について説明できる。	パワーポイントにて説明し、解説をする。	田口 明 (客員教授)	F-2-4)-(7)-⑥ 各IV -1-V 各IV - IV -3-I